

- 7日に発表された2018年12月の米ISM非製造業景気指数は前月から低下したものの、米国の非製造業が底堅いことを示す内容で、米国株や米10年国債利回りは上昇基調に転じた。
- ただし、投資家の不安心理を表すとされるVIX指数は、同日は米国株が上昇したにもかかわらずほぼ横ばいにとどまったことから、引き続き同指数の動向に注視が必要と考えられる。

米非製造業景気指数は低下も底堅さを示す

7日に発表された2018年12月の米供給管理協会（ISM）非製造業景気指数は57.6と、前月の60.7から低下し、市場予想の58.5（ブルームバーグ集計）を下回りました。同指数は生産や新規受注、雇用など幾つかの項目について非製造業担当者に対しアンケートを行い、その回答結果を集計したもので、50を上回ると景気が良い、50を下回ると景気が悪いとされています。

3日に同製造業景気指数が発表された際、同指数が2年ぶりの水準へ低下したことから、同日の米国株急落のきっかけの1つとされました。

しかし、7日の同非製造業指数の低下は同製造業指数ほどには大きくなかったことで市場の一部で米国景気への先行き懸念が和らいだとみられ、今回の発表後、米国株は上昇基調に転じました。また、内訳をみても新規受注が6カ月ぶりの高水準となるなど、旺盛な個人消費などを背景に依然として米国の非製造業が底堅いことを示す内容といえます。

市場にやや落ち着きもVIX指数の動向に注視が必要

米国債市場では、リスク回避とみられる動きから3日には2.55%台まで急低下した10年債利回りが、今回の発表や米国株の上昇などもあり、7日には2.69%台へ上昇しました。同日には米中の次官級の通商会議が始まり、米中交渉への期待感もリスク回避姿勢を和らげたとみられ、今週に入ってから米国市場にはいったん落ち着く動きがうかがえます。

ただし、投資家の不安心理を表すとされるVIX指数は、市場の不安心理が比較的高いとされる20の水準を上回る状況が続いており、同日は米国株が上昇したにもかかわらずVIX指数はほぼ横ばいにとどまりました。こうしたことから、引き続き同指数の動向に注視が必要と考えられます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

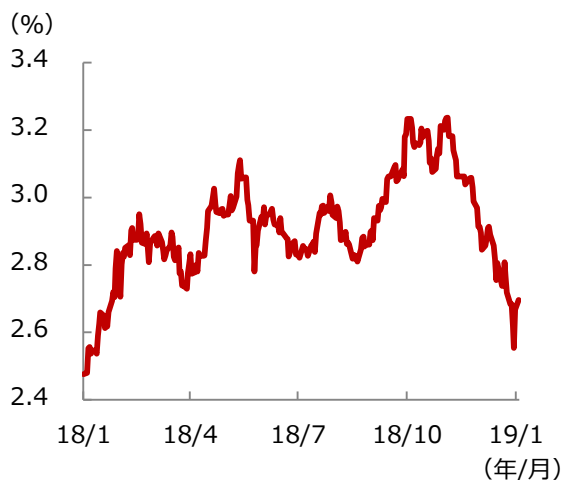
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

ISM指数の推移



※期間：2008年12月～2018年12月（月次）

米10年国債利回りの推移



※期間：2018年1月5日～2019年1月7日（日次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。